

医療・介護の腰痛対策の進め方

たおだ
教えて！ 埜田先生！！

新・職場における腰痛予防対策指針の生みの親！
ノーリフトの父！ ... No Lift=持ち上げさせない

- Q! 指針で「訴訟が起きたら管理側が敗訴するようになった」のですか？
- Q! 労働基準監督署が腰痛監査の準備を進めているのですか！？
- Q! 厚労省が腰痛対策を重点課題にした背景やこれまでの歴史は？
- Q! どうすれば安全な労働環境を作れますか？

Canada旅行で観光ガイドから言われたそうです。
「日本にだけ、腰痛予防の法律がないそうですね。
カナダでは4人そろわないと持ち上げたらだめ。
機械を使うことになっています。」

- Q! 日本はなぜ遅れてしまったんですか？
- Q! 海外の意識が高いのはなぜですか？
- Q! 腰痛対策で対象者の拘縮も良くなるって本当ですか？



経歴

1983年 滋賀医科大学卒業
 1991年 滋賀医科大学大学院医学研究科修了(医学博士学位取得)
 2000年 ~2001年 スウェーデン王立労働生活研究所客員上級研究員
 1998年 ~滋賀医科大学社会医学講座衛生学准教授
 資格: 日本人間工学会認定人間工学専門家、労働衛生コンサルタント

専門分野

社会医学、労働衛生学、人間工学、農村医学

研究課題

職業性腰痛・頸肩腕障害の予防、全身振動の生体影響評価、福祉・教育・医療職場の安全衛生管理、障害者の受療権保障、障害者の二次障害予防など

